

国立大学法人兵庫教育大学

学 報

第375号 平成25年 3月



平成24年度兵庫教育大学都道府県連携推進会議の開催（関連記事6ページ）



加東市との共催による「加東市高齢者大学」閉講式の開催（関連記事8ページ）



特別支援教育コーディネーターコース発達障がい支援アドバンス講座の開催（関連記事4ページ）



附属小学校研究発表会の開催（関連記事3ページ）

目 次

- ◇学 事2
 - ・平成25年度学校教育学部推薦入試等合格者状況
 - ・平成25年度大学院連合学校教育学研究科入学者選抜試験合格者状況
- ◇諸 報2
 - ・国立大学法人兵庫教育大学役員会
 - ・国立大学法人兵庫教育大学教育研究評議会
 - ・兵庫教育大学大学院学校教育研究科・学校教育学部教授会
 - ・連合学校教育学研究科代議委員会
 - ・連合学校教育学研究科教授会
 - ・附属小学校研究発表会の開催
 - ・特別支援教育コーディネーターコース発達障がい支援アドバンス講座の開催
 - ・加東市との連携講座「播州清水寺の中世—中世地方寺院のたくましい姿に迫る—」の開催
 - ・平成24年度リーダーズセミナーの実施
 - ・近府連中高部会国語科研究協議会の開催

- ・NANAつくす事業「不登校児童生徒支援に関するネットワーク会議（平成24年度年2回）」の開催
- ・留学生歓送パーティーの開催
- ・平成24年度兵庫教育大学都道府県連携推進会議の開催
- ・附属小学校「うれしのフェスティバル」の開催
- ・ファカルティ・ディベロップメント推進委員会委員研修会の開催
- ・知的財産に関する説明会「教材の電子化と著作権法」の開催
- ・附属幼稚園生活発表会の開催
- ・第28回教育実践学フォーラムの開催
- ・加東市との共催による「加東市高齢者大学」閉講式の開催
- ・附属小学校「ありがとううれしの班」の開催
- ◇主要日誌10

— 学 事 —

○平成25年度学校教育学部推薦入試等合格者状況

学校教育学部推薦入試及び私費外国人留学生特別入試を1月29日(火)に実施し、それらの合格者の発表を2月13日(水)に行った。

合格者数等は次のとおりである。

区 分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
	人	人	人	人
推薦入試	58	277 (223)	272 (221)	58 (60)
私費外国人留学生 特別入試	若干人	3 (2)	3 (1)	1 (1)

備考：() は昨年度の合格者数等を示す。

○平成25年度大学院連合学校教育学研究科入学者選抜試験合格者状況

連合学校教育学研究科入学者選抜試験を2月17日(日)に実施し、合格者の発表を2月20日(水)に行った。

合格者数等は次のとおりである。

専 攻	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
	人	人	人	人
学校教育実践学	6	17 (11)	16 (10)	8 (5)
先端課題実践開発	4	9 (6)	9 (6)	4 (3)
教科教育実践学	14	26 (17)	24 (16)	16 (10)
合 計	24	52 (34)	49 (32)	28 (18)

備考：() は、現職教員である者を内数で示す。

— 諸 報 —

○国立大学法人兵庫教育大学役員会

第21回 平成25年2月1日(金)

(議題)

- 1 平成25年度国立大学法人兵庫教育大学予算編成方針(素案)について
- 2 平成26年度概算要求に係るスケジュール等について

第22回 平成25年2月12日(火)

(議題)

- 1 平成25年度国立大学法人兵庫教育大学予算編成方針(素案)について

- 2 台湾及び韓国の協定大学とのダブルディグリープログラムについて

○国立大学法人兵庫教育大学教育研究評議会

第10回 平成25年2月12日(火)

(議題)

- 1 国際交流センター及び教育実習総合センターの設置等について
- 2 各センター長等候補者について
- 3 経営協議会学外委員について
- 4 教員の選考について
- 5 国立大学法人兵庫教育大学教員の任期に関

する規程の一部改正について

- 6 客員教授及び客員准教授の取扱いについて
の一部改正について
- 7 教員の選考開始について
- 8 台湾及び韓国の協定大学とのダブルディグ
リープログラムについて
- 9 コア・サイエンス・ティーチャー(CST)
養成プログラムの実施について
- 10 平成26年度大学院学校教育研究科(修士課
程・専門職学位課程)学生募集要項について
- 11 大学院学校教育研究科教育内容・方法開発
専攻に所属する学生に対する他教科免許状取
得支援に関する取扱要項の制定について
- 12 神戸ハーバーランドキャンパスの開館時間
等について
- 13 受託研究の受入について

○兵庫教育大学大学院学校教育研究科・学校教育学 部教授会

第11回 平成25年2月12日(火)

(議題)

- 1 平成25年度学校教育学部推薦入試の合否判
定について
- 2 平成25年度学校教育学部私費外国人留学生
特別入試の合否判定について
- 3 平成26年度大学院学校教育研究科(修士課
程・専門職学位課程)学生募集要項について
- 4 教員候補者についての意見の取りまとめに
ついて
- 5 平成25年度授業科目の新設改廃等について
- 6 大学院学校教育研究科修士課程子育て支援
コーディネーター養成プログラムの運営支援
体制に関する規程等の制定及び一部改正につ
いて
- 7 平成24・25年度授業科目担当教員の変更等
について
- 8 学生の学籍異動について
- 9 学校図書館司書教諭講習科目単位修得者の
単位認定について
- 10 特別聴講学生の入学について

○連合学校教育学研究科代議委員会

第9回 平成25年2月18日(月)

(議題)

- 1 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科
の神戸ハーバーランドキャンパスの使用に関
する申合せの制定について

○連合学校教育学研究科教授会

第3回 平成25年2月18日(月)

(議題)

- 1 平成25年度入学者選抜試験の合否判定につ
いて
- 2 平成25年度入学者選抜試験の追加合格の取
扱いについて
- 3 平成25年度入学予定者の指導教員の決定に
ついて
- 4 平成25年度連合学校教育学研究科予算配分
基本方針について
- 5 学生表彰について
- 6 代議委員会の審議経過について

○附属小学校研究発表会の開催

2月1日(金)、附属小学校において、『自己を
形づくる』学校の構築(4年次)ー評価の在り方
を再考するーの研究テーマのもと、平成24年度
研究発表会を開催した。本年度は、北は北海道か
ら南は鹿児島まで、600人を超える参加者を得た。

午前は、開会挨拶・基調提案のあと、公開Ⅰと
して道徳と関連させた授業及び英語学習の授業を
9クラスで公開した。そのあとの公開Ⅱ・Ⅲでは、
延べ19クラスで各教科及び道徳の授業を公開した。

昼食時には、本校の特色ある教育活動であるう
れしの総合活動について、子どもたちが生き生き
と活動する様子をビデオ上映した。

午後からは各教科・道徳の分科会が行われ、ど
の分科会でも白熱した議論が展開され、本校の研
究に対して様々な角度からの意見を得ることがで
きた。

最後に、前西脇工業高等学校陸上部監督、現日
本体育大学陸上部特別強化委員長である渡辺公二
氏による講演が行われた。「スポーツであれ何であ
れ、よい成績をおさめる原動力は、人として生き

る基礎基本である。生活規律や礼儀なくして結果はついてこない。」という教育の原点にふれる一流の指導者の言葉に、会場は大きな拍手に包まれた。

100人を超えるPTAボランティア・学生ボランティアなどの協力も運営を支える大きな力となり、大変密度の濃い有意義な研究発表会となった。



○特別支援教育コーディネーターコース発達障がい支援アドバンスド講座の開催

2月2日(土)、神戸国際会館において、特別支援教育コーディネーターコース発達障がい支援アドバンスド講座を開催した。

午前には、特別支援教育リーダーのための教養セッションとして、株式会社北島マネジメントサービス部長の香月務氏から「ホテルのおもてなしとリピーターの創出」、神戸大学大学院経営学研究科教授の松尾睦氏から「職場が生きる、人が育つ『経験学習』」と題した講演が行われた。引き続き行われた座談会では、特別支援教育コーディネーターコース長の宇野宏幸教授を交え、意見交換を行った。

午後は、2つの分科会に分かれて、特別支援教育の未来を考えるミニ講演とパネルディスカッションが行われた。

分科会Aでは、「インクルーシブ教育の推進！これからの『特別支援教育コーディネーター』像を求めて」をテーマに、特別支援教育専攻の石橋由紀子准教授による「インクルーシブ教育において特別支援教育コーディネーターに求められる役割」、大阪府立佐野支援学校清水謙二指導教諭による「知的障害特別支援学校における地域支援の取り組み～セン

ター的機能を効果的に発揮するためのシステムづくり～」、伊勢原市立中沢中学校深澤しのぶ総括教諭による「特別支援学級から発信する、交流・共同学習～みんなを支援・みんなを支援～」と題したミニ講演が行われた。引き続き、特別支援教育専攻の岡村章司准教授を交え、総合討議が行われた。

分科会Bでは、「自閉症スペクトラム児の理解と新しい通常学級の授業づくり」をテーマに、岐阜大学教育学部小島道生准教授による「内面世界から支援を考える」、愛媛大学大学院医学系研究科堀内史枝助教による「児童精神の臨床から～学校との連携を中心に～」、加古川市立平岡小学校今津恵教諭による「通常学級の授業実践～物語文の心情理解～」、兵庫県新温泉町立浜坂北小学校片瀬廉士教諭による「通級指導教室の実践～クラスとの連携をふまえて～」と題したミニ講演が行われた。引き続き、宇野宏幸教授を交え、総合討議が行われた。

本講座は、午前・午後あわせて約100人が参加し、特別支援教育の未来について、明るく闊達に議論する場となった。



○加東市との連携講座「播州清水寺の中世～中世地方寺院のたくましい姿に迫る～」の開催

2月2日(土)、社福祉センターにおいて、加東市との連携講座「播州清水寺の中世～中世地方寺院のたくましい姿に迫る～」を開催し、加東市を中心に40人の参加があった。

講師は、教育内容・方法開発専攻の河村昭一教授が務め、西日本屈指の500点近く伝えられている中

世文書から読み取れる清水寺の中世の歴史について解説された。

宗教的活動だけでなく、政治的活動や経済的活動を通じて中央や地方との関係を巧みに構築するなど、地方寺院のたくましい姿を豊富な資料で解説する講義に、受講者は熱心に聞き入った。



○平成24年度リーダーズセミナーの実施

2月9日、本学において、課外活動団体次期リーダーを対象に、平成24年度体育系及び文化・芸術系リーダーズセミナーを実施した。同セミナーは、リーダーとしての資質向上を図るとともに課外活動団体相互の理解と交流を通して活発な活動の促進に資することを目的として毎年実施している。

午前中は、北はりま消防本部から講師を招いて安全・救命講習を行ったり、クラブのホームページの設立及び活動の活性化についての意見交換が体育系及び文化・芸術系合同で行った。

午後からは、体育系はクラブの活性化や体育会としてのこの1年の振り返りについて、文化・芸術系は課外活動のあり方や地域における活動の活性化についてなどをテーマに、それぞれに分かれて討議が行われ、次期リーダーにとって今後のクラブ運営を行う上での有意義なセミナーとなった。



○近附連中高部会国語科研究協議会の開催

2月12日（火）、附属中学校において、近畿地区の国立大学附属学校教員の参加を得て、国語の研究授業を2コマ公開し、そのあと研究協議会を開催した。

ICTやマインドマップの有効性、授業での電子メールの活用方法、ツールミンモデルを基にした論理的思考力の育成などについて意見交換し、有意義な研究会となった。



○NANAつくす事業「不登校児童生徒支援に関するネットワーク会議（平成24年度第2回）」の開催

2月14日（木）、総合研究棟において、不登校児童生徒支援に関するネットワーク会議（以下、「ネットワーク会議」）を開催した。

この催しは、本学が不登校児童生徒支援組織等（教育委員会・学校法人・NPO法人・フリースクール・親の会等、以下、「支援組織」）と連携協力して実施する学生参加による不登校児童生徒支援ネットワ

ーク事業（以下、「NANAつくす事業」）の一環として、支援組織と本学の連携協力、及び支援組織相互の連携・交流の場を提供するため開催している。

当日、ネットワーク会議には、支援組織の代表者25人、本学教職員及び学生23人が出席した。

はじめに、今年度の活動報告が行われ、引き続き、デモクラティックスクール「まっくろくろすけ」の黒田喜美氏、兵庫県立山の学校の高見宏樹氏からそれぞれの団体の活動について発表があった。また、本事業を通じてボランティア活動を行っている学部4年次生の楠本優さん、橘寛志さん、福山早紀さん、学部3年次生の高橋真梨さんから自身の活動体験について発表があった。

発表を行った楠本さんは「活動を通して、何が子どもたちのためになるのか自分に問い続けるようになり、また子どもたちが自分自身を見つめるための時間を持つことの大切さを知ることが出来たのではないか」と述べ、本事業が学生の成長する機会となっていることがうかがえた。

また参加者からは「なかなか思うようにいかないことも多いと思うが、学校長をはじめとしたベテランの先生方と協力しながら学校現場でも頑張っていたきたい」と学生への激励もあり、学生を含めた参加者相互の理解を深める有意義な時間となった。



○留学生歓送パーティーの開催

2月15日（金）、食堂において、本年3月に修了予定の外国人留学生歓送パーティーが、留学生や本学関係者、フレンドシップファミリー、加東市関係者

ら約120人が参加して行われた。

当日は、加治佐哲也学長から開会の挨拶が行われ、安田正義市長からお祝いの言葉が贈られた。加東市国際交流協会池見清美会長の音頭で乾杯が行われた後、修了する留学生41人の紹介が行われ、留学生からは「1年間地域の方々や大学の人達に大変お世話になりました。感謝しています。母国に帰ったら日本の素晴らしさを伝えたい。」などの挨拶があり、さらに有志による歌が披露された。

参加した留学生たちはフレンドシップファミリーや日本人学生らと和やかに歓談しつつ別れを惜しんだ。



○平成24年度兵庫教育大学都道府県連携推進会議の開催

2月16日（土）、総合研究棟において、平成24年度都道府県連携推進会議が、加治佐哲也学長をはじめとする大学関係者、大学院同窓会役員及び岩手県から沖縄県まで20都県の評議員並びに院生連絡協議会役員など57人が参加し開催された。

同会議は、平成21年4月に大学と大学院同窓会が連携して教育研究の進展や教育現場の活性化をより一層推進するため都道府県連携推進本部が設置され、その施策の円滑な実施を行うために毎年開催されている。

当日は、加治佐学長から大学の現状と課題について説明が行われた後、大学院修了生に対する教育研究活動の支援の在り方や大学と大学院同窓会との連携等について活発な協議が行われた。会議終了後に行われたキャンパス案内では、昨年整備されたラーニングコモンズの各施設・設備及び教材文化資料館

の展示の見学が行われ、最新の学び環境の整備状況に驚かれる姿が見受けられた。また、引き続き食堂で懇親会が開催され、ウェルカムイベントとして学部生による躍動的な「よさこい」演舞に始まり、参加者は終始和やかに懇親を深めた。



○附属小学校「うれしのフェスティバル」の開催

2月16日（土）、附属小学校において「うれしのフェスティバル」を開催した。

この行事は、うれしの総合活動や教科、道徳、特別活動の時間に子どもたちが学んできたことを互いに発表し合う場として位置づけている。今年は学級閉鎖により2年生のみ3月1日に開催することとなったが、『華』というテーマのもと、各学年が趣向を凝らした発表や展示を行った。『華』には、「華やかさ」「勢い」「美しさ」を各学年の発表の中で表現していきたいという思いが込められている。学習してきたことを発表する中で、子ども同士はもちろんのこと、保護者や地域の方々とも交流し、様々な見方や考えに触れ、新たな学びへとつなげていくことができた。



○ファカルティ・ディベロップメント推進委員会委員研修会の開催

2月19日（火）、総合研究棟において、愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室の山田剛史准教授を講師に招いてファカルティディベロップメント推進委員会（以下、FD委員会）委員研修会を開催した。

この研修会ではFD委員会委員を対象に「効果的な授業評価アンケートの活用方法」というテーマで講演が行われ、引き続き意見交換を行った。

講演では愛媛大学におけるFDの実施体制や実際の取組事例などが紹介され、参加者は講演内容に熱心に耳を傾けた。

また、講演後の質疑応答・意見交換では、「組織体制の変化の経緯は何だったのか」、「本学のようにFD専任教員がいなくても愛媛大学のような取組は継続的に実施できるのか」など本学の取組状況を踏まえた活発な議論が展開された。参加委員からは「FD推進担当者向けにテーマが絞られていたため、本学が取り組むべきFDの方向性がより明確となり、内容の濃い研修会だった」などの声があり、本学のFDを推進していくうえで、有意義な研修会となった。



○知的財産に関する説明会「教材の電子化と著作権法」の開催

2月20日（水）、附属図書館ライブラリーホールにおいて、知的財産に関する説明会を開催した。

この説明会は、著作権に関する知識と著作物の利活用に関する正しい認識を深め、今後の教育研究活動の推進に資することを目的として実施したもので、日本著作権教育研究会事務局長の内田弘二氏を講師に迎え、「教材の電子化と著作権法～講義教材、紙とパワポでなにが違う～」と題した講演を行った。

説明会には教職員、学生が参加し、約1時間半の講演は著作権の基礎知識や学校現場での著作物の活用等について、具体的でわかりやすい内容であった。

また、講演のあと活発な質疑応答が行われ、今後の教育研究活動において大変参考となった。



○附属幼稚園生活発表会の開催

2月21日（木）から3月1日（金）にかけて、附属幼稚園において、生活発表会を開催した。

子どもたちに応じた題材を選び、日々の保育の中で培われてきた豊かな心や意欲、人とのつながりなどを大切にしながら取り組んだ。また、自分なりに様々な方法で表現することを楽しめるよう、子どもたちと教師が一緒になって作りあげ発表した。一人一人の子どもたちの1年間の育ちを実感し、保護者と共に喜び合う機会となった。



○第28回教育実践学フォーラムの開催

2月23日（土）、大阪大学中之島センターにおいて、第28回教育実践学フォーラムを開催した。

今回は、大阪芸術大学初等芸術教育学科田中裕美子教授をゲストスピーカーとして招き、「読み困難の理解と支援法」をテーマとして講演が行われた。

「ディスレクシア」と呼ばれる字が読めないなどの学習障害に対する多くの個別事例や支援法に関する実践を踏まえた講演内容に、参加者は熱心に聞き入っていた。



○加東市との共催による「加東市高齢者大学」閉講式の開催

2月23日（土）、講堂において、加東市高齢者大学の閉講式を開催した。

加東市高齢者大学は、加東市、加東市教育委員会が主催し、本学が共催して、平成18年度から行っているもので、平成24年度は、昨年の5月12日（土）

に開講式を開催した後、2月までの約1年間にわたり、教養講座・クラブ活動等を行ってきた。

閉講式では、安田正義加東市長の挨拶に続いて、来賓の挨拶、学習内容報告、皆勤賞の表彰を行った後、加治佐哲也学長が「兵庫教育大学の地域貢献」と題して記念講話を行い、本学が実施している地域貢献事業を具体的に紹介しながら、教員や学生などを活かして大学が地域貢献を行うことの重要性についての話があり、約500人の高齢者大学生は熱心に耳を傾けていた。

引き続き、クラブ芸能発表が行われ、6つの芸能グループがそれぞれの1年間の活動の成果として、銭太鼓、コーラス、民謡、オカリナ演奏を披露するなど、和やかで活発な交流のひとつを過ごした。



○附属小学校「ありがとううれしの班」の開催

2月26日（火）～28日（木）、附属小学校において、「ありがとううれしの班」を開催した。

この活動は、色別の縦割り班で1年間共に班旗づくりやうれしのスポーツ、ミュージカル学習などを実践してきた仲間とそれぞれの活動を振り返るものである。また、これまでの活動を支えてきた6年生に感謝の意を表すと共に、5年生を中心に附小っ子の伝統を守っていくことを決意する機会でもある。

会では、これまでの思いがあふれ涙する6年生の姿もあり、自己を見つめると共によい思い出を心の中に刻むことができた。



－ 2 月 主 要 日 誌 －

月 日	事 項
2月1日(金)	役員会 (第21回) 附属小学校研究発表会
2日(土)	特別支援教育コーディネーターコース 発達障がい支援アドバンスド講座 加東市との連携講座「播州清水寺の中世－中世地方寺院のたくましい姿に迫る－」
8日(金)	学校教育学部入学試験委員会 (第6回)
9日(土)	平成24年度リーダーズセミナー
12日(火)	役員会 (第22回) 教育研究評議会 (第10回) 研究科・学部教授会 (第11回)
13日(水)	学校教育学部推薦入試等合格者の発表
14日(木)	研究推進委員会 (第5回) 不登校児童生徒支援に関するネットワーク会議 (第2回) NANAつくす支援活動評価委員会 (第1回)
15日(金)	留学生歓送パーティー
16日(土)	平成24年度兵庫教育大学都道府県連携推進会議 附属小学校うれしのフェスティバル
17日(日)	大学院連合学校教育学研究科入学者選抜試験
18日(月)	連合学校教育学研究科代議委員会 (第9回) 連合学校教育学研究教授会 (第3回) 大学院連合学校教育学研究科入学試験委員会 (第3回)
19日(火)	ファカルティ・ディベロップメント推進委員会委員研修会
20日(水)	企画運営会議 (第9回) 大学院連合学校教育学研究科入学者選抜試験合格者の発表 知的財産に関する説明会「教材の電子化と著作権法」
21日(木)	大学院入試委員会 (第9回) 附属小学校関係者評価委員会 附属小学校学校評議員の会 (第2回) 附属幼稚園生活発表会 (～3月1日)
23日(土)	第28回教育実践学フォーラム 加東市との共催による「加東市高齢

25日(月)	者大学」閉講式 学校教育学部前期日程入学者選抜試験 (～26日)
27日(水)	学生委員会 (第8回) 大学院学校教育研究科教務委員会 (第11回) 学校教育学部教務委員会 (第11回) 高大連携推進委員会 (第2回)
28日(木)	人事・労務委員会 (第3回) 附属中学校関係者評価委員会

編集発行 **兵庫教育大学総務部企画課**

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1

電 話 (0795) 44-2334

<http://www.hyogo-u.ac.jp/>